

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の対策が万全ではない。連絡網などは整っている物の、災害別の避難誘導策の策定や、避難した入居者様の安全をどう確保していくのかといった事が定まっていない。	ホームの災害時、駐車場に避難誘導した入居者様の見守りや安全確保など、地域の方にも手伝って頂けるような体制を整える。	地域の避難訓練や防災に関わる活動に参加させて頂き、その中でホームが抱える課題について伝え、助力を頂けるように努める。また、民生委員の方を通じて、地域とより太いつながりを持てるように努める。	12ヶ月
2	4	運営推進会議の参加者が中々増えない。ホームの活動や方針について直接伝えられず、また、ホームやユニットの運営や方針に関して直接意見を頂く事が出来ていない。	1Fのご家族様2名、2Fのご家族様3名の参加。	案内と一緒にアンケートを送付し、参加が難しい理由を伺っている。開催時間等、改善が図れる理由であれば、可能な限り対応し、多くの方が参加しやすい状況を模索している。	12ヶ月
3	2	地域の中で、まだまだ『愛の家グループホーム甲府後屋』というグループホームがある事、また、どういう場所なのか、どういう人が入居しているのか、という認知度が低い。	まずは『愛の家グループホーム甲府後屋』という場所が地域の中にある事を、広く知ってもらう。	地域のイベントに入居者様と参加する。7月に周年祭という新しいイベントを考えており、そのイベントの目的は『地域の人に、愛の家グループホーム甲府後屋』という場所があるという事を知っていただく事。まずはイベントの開催を目指す。	4ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月